



5 年 萩原 芳臣

弟とレスリング

「たくみー!!やるかー」
ぼくの声

「お!!」

と、弟とぼくの レスリング。

マットを体に、しばり、

パンチをやってもいたくない。

「ありや、ありやあー」

と、たくみのパンチ。

ぜんぜんいたくない。

マットレスが ぼくの体を守る。

いきなり、

たくみが、ぼくの顔をかっちやいた。

「くそつ。やられたか」

ぼくのほっぺたのかわがむけた。

シリーズ ⑩

我が家の家庭教育

子供の躰は親が手本に

木戸 椎名 洋子

小学校三年生の長男、同じく一年生の長女、満二歳になる二男の三人の子の母親です。

結婚当初は農業に従事していた為、殆どひいおばあちゃん(現在83歳)に子供の面倒は見ていただいておりましたので、子供たちはすっかりなついています。また、祖父母も子

ぼくの頭にいきなり、こみあげてきた。
「えい、おかえしだ」

たくみの顔に、パンチしたら、大なきだ。

そして

おしいれの中に入れて、口をふさいだ。

「あーあくそたくー。なきやめー」

にくらしー」

弟の声を、ききながら、

ぼくの心は、すっきりしない

ああ。

こう、弟が、なくんじや

おもしろくないな。



1 年 かせ ともあき

はたけのこやし

供好きでよく見てくれました。小さい子供を置いて安心して出かけられ、本当に感謝しております。

現在は主人が勤めておりますので、二歳になる二男の育児を含めた家庭の専業主婦です。

我われ両親も長男が小学校に入学すると、

子育てでや躰について反省させられたり、こう

した方がよいとか意見を交わすようになり、

子育ての難しさを知りました。

よく世間の父親は子育ては母親に任せつき

りと言う方が多いと聞きますが、我が家の父

親はそうではありません。むしろ母親の私よ

り子供達の扱いは上手なようです。子育てに

どうしてはたけに
こやしをつかうの。

はたけにつかうのは、
めがでるため。

それとも

よくそだつため。

こやしつて

すごいちからを

もっているんだな。

俳句・短歌会

牛の背に元旦の陽を溢れしむ
大木静波子

兄弟姉妹と集う岬の御来光
越川 雪枝

初詣小さき夢の願いごと
伊藤 定男

初鶏や目覚めて朝の刻を告ぐ
伊藤 定男

も関心を示してくれ、休みの日はできるだけ

子供達と共に行動しています。

長男は必ず父親が会社から帰って来るのを

待つて一緒にお風呂に入り、学校での勉強、

友達、遊び等いろいろと楽しそうに話し、父

親とのスキンシップをはかっている様です。

また、長女はやはり女の子、食事の準備や

後片づけなどしていると「お母さん手伝う」

と言って手伝ってくれます。終わった後は本

当に助かったと、感謝をこめてありがとうを

言います。我が家では、家庭教育というより

「子供を躰るには親が手本をしめすこと」に

気付き、どんな事にも実行するように心がけ

片言の孫も交えて雑煮食む
土屋 好

牛群の諦き交しおり初日影
椎名 静子

初鏡又も殖えたり皺の数
伊藤 幸枝

夫婦箸五十年なる屠蘇を酌む
鈴木 つね

経りし年なつかしみつつ此の朝
山崎平八郎

初春の陽に真向ひて佇つ
岩沢 芳江

若水にてすりたる墨の黒ぐろと
「倅せ」とのみ慎みて書く
伊藤 鏡子

老松の梢を照らす初光り
鈴木甲子幸

明けゆく部屋に蘭亭
鈴木甲子幸

輝の手足かばひて学び舎を
巢立ちし吾等新春待ち集ふ

ています。
今後は子供達のそれぞれの個性をひきだし

伸ばしてあげ、男の子は男らしく、女の子は

女らしく、自由に伸びのびと育ってくれば

と願っています。

